

かんまき 社協だより



第32号 (H22.8)

発行者：

上牧町社会福祉協議会

〒639-0214

上牧町上牧3245-1

TEL (76) 6098

FAX (79) 0895

あなたのまちの小地域ネットワーク活動

虹の会(米山台)

ペーパークラフト 飛行機を作ろう!

7月4日 小地域ネットワーク 虹の会主催で小学生を対象とした紙飛行機づくり みんなで作って楽しく遊ぼう!」が行われました。

参加人数は38名、虹の会代表伊達さんの指導の下、難なくこなす子どもたちもいれば悪戦苦闘する子どもたちも…。

戸惑う子どもたちには虹の会のメンバーが手助けをされていました。そのような姿を見ているとほのぼのとした温かい気持ちになります。

また、その後には公園に出て、学年ごとに飛行機を飛ばし飛距離を競いあいました。

このような企画をきっかけに顔のわかる関係が出来ます。

上牧町では小地域ネットワークが9団体あります。

貴方のお住まいの地域でこのような企画があるときは一度足を運ばれてはどうでしょうか。

地域と繋がるいい機会になるのではないかと思います。



災害時に社会福祉協議会に求められる役割とは

地球温暖化の影響が近年日本各地で毎年のように豪雨災害などの被害が発生しています。また、地震においては7月21日の早朝にも奈良県内を震源に宇陀市で震度4を計測する地震が発生しましたが、東南海・南海地震のような大規模な地震への備えも叫ばれています。

不幸にもこのような災害が発生し被害が出た場合、社会福祉協議会（以下、「社協」）にはどのような役割が求められるのでしょうか。

大きく2つのケースに分けることができます。

まず、近隣の市町村などが被災した場合、この場合は社協は以下のような支援を行います。

①義援金などの募金の募集

社協の窓口などで義援金などの被災者や被災地の支援のための募金を呼びかけ、共同募金会などを通じて被災地に送金します。（※義援金として募集している募金はお見舞い金などの形で直接被災者に届けられます。）

②ボランティアの募集と派遣

被災者支援のためのボランティアを募集し、ボランティアと一緒に被災地へ赴き災害ボランティア活動に従事します。

（平成16年の台風23号災害では、兵庫県豊岡市災害ボランティアセンター及び京都府宮津市災害ボランティアセンターの運営支援のために職員4名を延べ12日間派遣し、町内で募集した延べ70名のボランティアに被災地での活動をしていただきました。昨年8月の台風9号災害でも5名のボランティアと被災地で活動を行いました。）



次に上牧町が被災した場合。

①社協の利用者などの安否確認と町内の被害状況に関する情報収集

まずは高齢者や障害者など社協の福祉サービスの利用者などの安否確認します。また、関係機関と相互に連絡を行い町内の被害状況に関する情報収集を行います。

②災害ボランティアセンターの設置と運営

情報収集の結果をもとに、行政と協議を行い災害ボランティアセンター設置の必要性があると判断した場合は、災害ボランティアセンターを設置し町内外からのボランティアの協力を得て被災者の支援を行います。

（7月の豪雨水害で大きな被害の出た地域では、山口県山陽小野田市や広島県庄原市などで社協が災害ボランティアセンターを設置して、市内や県内のボランティアの協力を得て被災者の家屋からの土砂の運搬や掃除などを支援しています。これらの社協の活動については「全社協 被災地支援・災害ボランティア情報」(<http://blog.goo.ne.jp/vc000000/>)で詳しく確認していただくことができます。）



前号の社協だよりでもお伝えしましたように、上牧町社協では平成22年度の新規事業として、奈良県社会福祉協議会よりモデル事業の指定を受けて社協の災害対応マニュアルを作成します。

このマニュアルは上牧町が被災地となってしまった場合、主として社協がどのように災害ボランティアセンターの設置を判断し、立ち上げと運営を行っていくかということを整理したものになる予定です。マニュアルの作成は平成22年6月から平成23年3月までの期間で行う予定です、この期間に住民の皆さんに災害時のボランティア活動について考えることを目的とした「防災講座」（全4回）も併せて実施していく予定です。



防災に限った話ではありませんが、何かあったときに少しでも被害を減らすためには普段からの準備や意識化が大切です。

社協では、このマニュアル作成や防災講座をとおして、皆さんに少しでも防災について考えてもらうきっかけになればと考えています。

災害ボランティアセンターってなに？

阪神・淡路大震災への復興支援のために約138万人ものボランティアが駆けつけ、1995年がボランティア元年と呼ばれるようになったことから明らかなように、大規模な災害などからの復興にはボランティアによる支援が欠かせません。

災害ボランティアセンターとは、このように被災地に駆けつけるボランティアを受け入れ、支援を必要としている被災者とボランティアをつないでいくことを目的に設置されるボランティアセンターです。

災害ボランティアセンターの設置は被災地の社協が中心となり行い、NPOやボランティアグループ、自治会などの地域の組織などと協働で運営していきます。

空き缶でご飯（第1回防災講座が開催されました）

6月8日に防災講座が開催されました。

第1回目の今回は防災について考えるきっかけ作りを目的に「空き缶でご飯を炊こう」というテーマでアルミ缶2つ（釜とコンロ）と牛乳パック3個（薪）を使用して、炊飯に挑戦しました。当日は30名参加者が真剣な表情で、空き缶の加工などに取り組み約1時間半の作業で綺麗にご飯が炊きあがりました。

防災講座では、防災について考えるきっかけや災害時のボランティア活動に必要な知識を学ぶ講座を今後も予定しています。今回の社協だよりでも第2回防災講座のご案内を掲載していますので、興味をお持ちの方はご参加下さい。



第2回 防災講座の参加者募集

「いざというときに役立つ知識①」 (災害時に役立つロープワーク)

防災講座は、いつ起こるかも知れない災害への備えをテーマに地域でのボランティア活動についてみなさんと一緒に考えることを目的に4回シリーズで開催しています。

第2回目となる今回の防災講座は「いざというときに役立つ知識①」と題して、災害時に役立つロープワークを学びます。ロープワークといっても、基本的な結び方からその応用編まで様々なものがあります。日常の生活でも役立つロープの使い方についてみんなで学びましょう。

- 参加申込 8月20日(金)までに社協(76-6098)へお申込みください。
- 会 場 2000 年会館 多目的室
- 定 員 30名(定員になり次第締めきります。)
- 持ち物等 なし(ただし、ロープ等の実費300円をいただきます。)
- 今後の予定
 - 12月 「講習会」(災害時にできるボランティア活動)
 - 3月 「いざというときに役立つ知識②」(ブルーシートの使い方)

(寄附金)

氏 名	種 別	内 訳
4月15日		
(株)立岩様	無指定	65,165円
5月17日		
(株)立岩様	無指定	94,528円
6月15日		
(株)立岩様	無指定	46,472円

(一円募金)

氏 名	種 別	内 訳
明朗会様	一円募金	1,131円
友愛会様	一円募金	2,660円

(物品寄附)

氏 名	種 別	内 訳
服部安司様	物 品	-

※社会福祉協議会では各自治会にお願いして地域の夏祭りなどのイベントに募金箱を設置させていただいています。
こちらにも皆様のご協力をいただきますようよろしく申し上げます。

社会福祉協議会へのご寄附ありがとうございます
 平成22年4月〜平成22年6月分
 上牧町社会福祉協議会では、地域福祉推進のためのご寄附をお願いしています。皆様からいただきました金品は地域福祉事業に活用させていただきます。
 なお、いただきましたご寄附は、所得税法上の控除の対象になります。
 たくさんのご寄附をいただきありがとうございました。